2014 年度センター試験 数学 1

第4問

絶対値を含んだ不等式

$$2|x^2 + 2x - 3| - 3|x - 1| > 2x + 3 \cdots \cdots \cdots \bigcirc$$

を満たす x の値の範囲を求める。

2次方程式 $x^2+2x-3=0$ の解は x=**アイ** 、 $\dot{\mathbf{r}}$ であるから、調べる x の値の範囲を

$$x < |\mathcal{T}|$$
, $|\mathcal{T}| \leq x \leq |\mathcal{D}|$, $|\mathcal{D}| < x$

の三つの場合に分ける。

x < アイ の場合

絶対値記号をはずして整理すると、不等式 ① は

$$2x^2 + 工 x - 才力 > 0$$

となるから、求める x の値の範囲は x <**キク** である。

- ・ $r \neq x \leq D$ の場合
- ① を満たす x の値の範囲は $\frac{x}{y} < x < 2$ である。
- ウ < x の場合
- ① を満たす x の値の範囲は $\mathbf{Z} < x$ である。

以上の場合を合わせて考えると、不等式 ① を満たす整数 x は無限に多くあるが、不等式 ① を満たさない整数 x の個数は t 個であることがわかる。

2 次方程式 $x^2 + 2x - 3 = 0$ の解は $x^2 + 2x - 3 = (x + 3)(x - 1)$ より x = -3, **1** である。不等式 ① を

$$x < -3, \qquad -3 \le x \le 1, \qquad x > 1$$

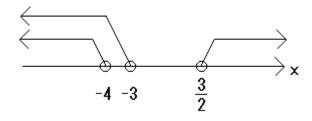
で場合分けして解いていく。

$$x < -3$$
 のとき $x^2 + 2x - 3 > 0$, $x - 1 < 0$ より

$$2(x^{2} + 2x - 3) + 3(x - 1) > 2x + 3$$

$$\Rightarrow 2x^{2} + 5x - 12 = (2x - 3)(x + 4) > 0$$

$$\Rightarrow x < -4, \qquad \frac{3}{2} < x$$



x < -3 より、求める範囲は x < -4

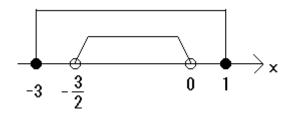
$$-3 \le x \le 1$$
 のとき $x^2 + 2x - 3 \le 0$, $x - 1 \le 0$ より

$$-2(x^{2} + 2x - 3) + 3(x - 1) > 2x + 3$$

$$\Rightarrow -2x^{2} - 3x = -x(2x + 3) > 0$$

$$\Rightarrow -\frac{3}{2} < x < 0$$

$$-3 \le x \le 1$$
 より、求める範囲は $\frac{-3}{2} < x < 0$

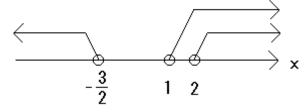


x > 1 のとき $x^2 + 2x - 3 > 0$, x - 1 > 0 より

$$2(x^{2} + 2x - 3) - 3(x - 1) > 2x + 3$$

$$\Rightarrow 2x^{2} - x - 6 = (2x + 3)(x - 2) > 0$$

$$\Rightarrow x < -\frac{3}{2}, \qquad 2 < x$$



x > 1 より、求める範囲は 2 < x

① を満たす範囲は x < -4, $-\frac{3}{2} < x < 0$, 2 < x となり、この範囲の整数は無限にある。一方、① を満たさない範囲は

$$-4 \le x \le -\frac{3}{2}, \ 0 \le x \le 2$$

となるため、① を満たさない整数は

$$x = -4, -3, -2, 0, 1, 2$$

の 6 個ある。